



ディープラーニングを使った音声コミュニケーション

音声言語情報処理の研究

技術分野分類 1202 知覚情報処理、1204 知能情報学、1206 知能ロボティクス

技術キーワード 音声情報処理、自然言語処理、音響情報処理、知能ロボット

産業分類 情報通信、教育・学習支援、医療福祉

内 容	概要	近年の音声認識技術の発展により、Google や Microsoft、Amazon を始めとする、多くの OS・ネットワークサービスで音声入力のサポートが行われるようになってきた。しかし、これらは基本的に単純な 1 問 1 答型の対話をを行うもので、人間のように複雑な文脈に依存した会話を自然に行なうことはまだ難しい。本研究室では、音声認識や自然言語処理、音声感情認識、音環境認識といった様々な要素技術と共に、より自然に雑談ができる音声対話システムの開発や音声処理応用システムの研究開発を行う。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	<ul style="list-style-type: none"> 人間の聴覚特性を考慮してディープラーニングを行うことで音声認識精度が向上 様々な音のある環境で、音の特徴量評価により発生源が何であるか判別が可能
	本技術の有用性	<ul style="list-style-type: none"> 雑音環境下や遠隔発話条件における高い音声認識性能 複数対話エージェントとの目的を持たない会話が可能
関連情報 (図・表・写真等)		  <p>複数の対話エージェントとの雑談対話システム</p> <p>ロボット対話システム</p>
適用可能製品		騒音下（自動車内や工場など）でのハンズフリー音声入力装置、サウンドトラックに対する音検索、案内ロボット対話システム、e-learning、会議録の作成など
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	山本一公 工学部 情報工学科・准教授
技術シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	中部大学 産官学連携推進課 0568-51-4852（直通）／0568-51-4859 kensien@office.chubu.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2018年9月10日